

会 議 録

1 会議名

平成28年度第9回板倉区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

・協議事項

(1) 諮問事項について (公開)

- ・諮問第116号 上越市立板倉地区公民館針分館の廃止について
- ・諮問第117号 上越市立板倉地区公民館豊原分館の廃止について
- ・諮問第118号 上越市立板倉地区公民館宮島分館の廃止について
- ・諮問第119号 上越市立板倉地区公民館山部分館の廃止について

(2) 自主的審議事項について (公開)

- ・地域振興部会
- ・健康福祉部会
- ・産業建設部会

(3) 地域活動支援事業審査基準検討部会の設置について (公開)

(4) 板倉区の小学校の在り方に関する検討結果について (公開)

(5) その他 (公開)

・その他 (公開)

- ・平成28年度冬期道路交通確保除雪計画について
- ・板倉区内バス路線の見直しについて
- ・町内会長訪問集計結果について

3 開催日時

平成28年11月28日(月) 午後6時～午後7時50分

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者(傍聴人を除く)の氏名(敬称略)

- ・委員：平井達夫（会長）、新井清三（副会長）、小林良一（副会長）、福崎幸一、徳永妙子、古海誠一、北折佳司、長藤豊、西田節夫、島田信繁、上野きみえ、古川政繁、増村眞一、島田正美
- ・社会教育課：早川公民館長
- ・事務局：板倉区総合事務所 五十嵐所長、山崎次長、山岸総務・地域振興グループ長、武藤市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、山中産業グループ長、高橋管理班長、嘉鳥地域振興班長、樋口主事、関主事（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【山崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・あいさつ

【五十嵐所長】

- ・あいさつ

【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・（1）「諮問事項について」を議題とする。「諮問第116号上越市立板倉地区公民館針分館の廃止について」、「諮問第117号上越市立板倉地区公民館豊原分館の廃止について」、「諮問第118号上越市立板倉地区公民館宮島分館の廃止について」、「諮問第119号上越市立板倉地区公民館山部分館の廃止について」一括事務局の説明を求める。

【早川公民館長】

- ・資料1～4により説明

【平井達夫会長】

- ・質問・意見がないので、「諮問第116号上越市立板倉地区公民館針分館の廃止について」、「諮問第117号上越市立板倉地区公民館豊原分館の廃止について」、「諮問第118号上越市立板倉地区公民館宮島分館の廃止について」、「諮問第119号上越市

立板倉地区公民館山部分館の廃止について」は、諮問の内容を適当と認め答申してよいか。

【委員】

- ・「はい」の声多数

【平井達夫会長】

・「諮問第116号上越市立板倉地区公民館針分館の廃止について」、「諮問第117号上越市立板倉地区公民館豊原分館の廃止について」、「諮問第118号上越市立板倉地区公民館宮島分館の廃止について」、「諮問第119号上越市立板倉地区公民館山部分館の廃止について」の協議は以上とする。

- ・答申書の確認は、私と副会長に一任いただいてよいか。

【委員】

- ・「はい」の声多数

【平井達夫会長】

・次に(2)「自主的審議事項について」、各部会で協議して報告する内容があれば、発言を求める。最初に地域振興部会西田座長発言願う。

【西田節夫委員】

- ・長藤委員が県議会議員と話をしているため、長藤委員から説明する。

【長藤豊委員】

・県議会の人口減少問題の特別委員会の委員長が私の同級生であるため、情報収集すると話をしてきた。先週の金曜日、今年度の特別委員会が開催された。傍聴できなかったが、委員長に支障がなければ資料を提示してほしいと申し入れたところ、了承いただけたので、近々届くと思う。届き次第、部会で検討したい。

【西田節夫委員】

・市会議員の特別委員会の中でも話し合いをしている。後で資料をもらえるように話をしてあるため、近いうちに資料をいただけるかと思う。資料が届き次第、部会を開いて検討し、地域協議会で報告する。

【平井達夫会長】

- ・質問・意見がないので、地域振興部会については以上とする。
- ・次に、健康福祉部会の徳永座長に説明を求める。

【徳永妙子委員】

- ・健康福祉部会は11月9日に部会を開いた。古海誠一委員も加え、以前見学したすこやかサロンについて話を進めた。古海委員から板倉区の老人の現状等を聞き、話し合いの中で市民生活・福祉グループ長に話を聞くことになった。
- ・11月16日に武藤グループ長、長嶺保健師長から高齢者について聞き取りを行った。サロンに出る人は少なく、どうしたらよいかを協議し、ボランティアが必要ということになり、どのようにして増やすかを進めていくことになった。
- ・1月の包括会議に私たち委員も参加させてもらい、参加者の話を聞いて進めていく方針である。

【平井達夫会長】

- ・質問・意見がないので、健康福祉部会の説明は以上とする。
- ・次に、産業建設部会の古海座長に説明を求める。

【古海誠一委員】

- ・産業建設部会は前回から進展がないため、報告事項はない。

【平井達夫会長】

- ・質問・意見がないので、産業建設部会の経過説明は以上とする。
- ・(2)「自主的審議事項について」は以上とする。
- ・次に、(3)「地域活動支援事業審査基準検討部会の設置について」を議題とする。事務局の説明を求める。

【山岸G長】

- ・資料5-1、5-2により説明

【平井達夫会長】

- ・委員の選出について、会長、新井副会長、各部会1名選出としてはどうか。

【委員】

- ・「はい」の声多数

【平井達夫会長】

- ・それでは、私と新井副会長、地域振興部会、健康福祉部会、産業建設部会の各部会から1名を選出とする。地域協議会を5分間中断するので、各部会で選出願う。
- ・地域振興部会から順番に報告を求める。

【西田節夫委員】

- ・長藤豊委員を選出する。

【平井達夫会長】

- ・健康福祉部会

【徳永妙子委員】

- ・上野きみえ委員を選出する。

【平井達夫会長】

- ・産業建設部会

【古海誠一委員】

- ・小林良一委員を選出する。

【平井達夫会長】

- ・地域活動支援事業審査基準検討部会委員は私、新井副会長、長藤委員、上野委員、小林委員とする。
- ・(3)「地域活動支援事業審査基準検討部会の設置について」は以上とする。座長は、第1回目の検討委員会で決めていただくようお願いします。
- ・次に(4)「板倉区の小学校の在り方に関する検討結果について」を議題とする。事務局の説明を求める。

【山岸G長】

- ・資料6-1、6-2、6-3により説明

【長藤豊委員】

- ・文書の表題に関して説明があったが、校區別意見交換会だとまたかと思わせてしまう。先程の説明のとおり変更した方がよい。

【山岸G長】

- ・今日お配りした資料も校區別意見交換会という名前を使っているが、板倉区の小学校の在り方に関する検討結果報告会でよいと承認いただければ、文書を訂正して町内会に発送したい。

【古川政繁委員】

- ・小学校の在り方について色々論議をしてきたが、先般の地域協議会では会長の一方的な発言に終わっている。地域協議会として意見をまとめておくことになっていたと

思う。したがって、ここで打ち切るのではなく、勉強会又は会議を開き、煮詰める必要がある。

【平井達夫会長】

・一本化を進めるには、今の段階では「時期尚早」という判断をした。4校区によって特性や意見が違う中で、大きくまとめると3校区が大体ニアリーイコールの意見、1校は全く違う意見という状況である。

・当初、一校にすべきではないかと提案があったが、今の段階では難しく、少し時間があるのではないかと。物事は、即やらなければならない問題と時間を掛けないと進められない問題がある。この問題は小学校だけではなく、地区という大きな問題がある。もう少し時間をかける必要があると、第8回地域協議会で皆さんにお諮りした。

・決してこれで終わったということではない。時期尚早なので審議を一旦休止し、時間を経て再度話し合いやその間に勉強会を持つのもよいと思う。取り敢えずは、時期尚早という判断を取りたい。

【古海誠一委員】

・前回の委員会で、我々地域協議会の委員の中から出た意見もばらついていて、意見がばらついたままで地域に出て説明をすることは、極めて危険な行為である。

・地域に出て説明をする前に、地域協議会の非公式会議を開催していただきたい。

【平井達夫会長】

・12月12日に宮嶋、14日が針、20日が豊原、21日が山部と予定されているが、その前に一旦勉強会ということか。

【古海誠一委員】

・その通りである。今年新しく委員になられた方と今までの委員の方では大分認識が違う。12月12日の前に一度すり合せ願う。

【西田節夫委員】

・私は前回地域協議会を欠席した。会議録がホームページに載るのは1か月以上かかり、内容が分からなかったため、事務局に問合せ、25日に記録をいただいた。

・時期尚早という結論だったため、何をやっているのかと思った。

・校区の皆さんに結果を報告するのならば、きちんとすべきである。委員がまちまちなことを言っていれば話にならない。

・児童数は、来年は28人減り、30年31年は34人ずつ減っていく。早く議論をしておかなければならない。12日の前に1回でも2回でも議論する必要がある。

【平井達夫会長】

・小学校の在り方についての勉強会を12日の前に実施した方がよいか。

【北折佳司委員】

・賛成である。勉強会を開催してほしいという話が出るということは、勉強会の必要があるのではないか。

【平井達夫会長】

・反対の意見がないようなので、勉強会を開催する。

【小林良一副会長】

・勉強会は非常によいことであるが、勉強会である程度の方向性を出さなければならない。校区に行った時にまとまりがなければ困る。

【西田節夫委員】

・豊原校区で歩道を建設していて、工事には約1億かかるため、5年10年は合併出来ないということになる。

・宮嶋校区は来年から複式が始まるが、宮嶋校区と山部校区はどうするのか。2校で統合させるのか。針校区を含めて3つの学校を統合させるのか。これらをきちんとしないと、何のために今まで議論してきたのかと住民から意見が出る。このことを勉強会で議論していきたい。

【平井達夫会長】

・勉強会の日時は、5日月曜日、18時からでよいか。

【委員】

・「はい」の声多数

【平井達夫会長】

・次に(5)「その他」について、事務局で協議事項はないか。

・皆さんの方で協議事項はないか。

【長藤豊委員】

・資料6-1は送付しないのか。

【山岸G長】

・明日送付しようとしているのは、6－3のお願い文書である。校區別意見交換会という名前を板倉区の小学校の在り方に関する検討結果報告会に変えて発送する。後は当日配布となる。

【長藤豊委員】

・資料6－1は、勉強会の結果で一部変わる可能性もあるのか。

【平井達夫会長】

・勉強会の内容にもよるが、時期尚早の結論はこのままでお願いしたい。統合問題は消えているわけではない。

・(5)「その他」に入る。最初に、「平成28年度冬期道交通確保除雪計画について」事務局の説明を求める。

【高橋班長】

・説明の前に、平成28年度除雪等路線（板倉区）の24ページ、図面番号172の除雪の路線図の中の栗沢の公民館の名前が「薬師公民館」と書いてあるが、「栗沢公民館」の間違いであるので、修正願う。

・資料7により説明

【長藤豊委員】

・冊子3ページ記載の除雪目標の中の異常豪雪時について、1車線と待避所を設置するとある。実際にバス路線で10%位の下り坂が1車線になり、その下にだけ待避所があるような状況に遭遇したことがある。下っている時に、先にバスが来て待避所に入ったのだが、下っている方は大体ブレーキを踏んでしまう。そのような危険箇所は、常に最低2車線空けるような指導をしていただきたい。

【高橋班長】

・今後、そういった危険箇所を除雪業者と確認し、待避所を設ける位置等を指導していきたい。

【古海誠一委員】

・今年の冬は小雪であったが、針曾根田線の板倉中央線から曾根田の間で車が路肩から外れ、5台ほど落ちている。可能な限り路肩の白線が見えるような丁寧な除雪をしてほしい。その道は拡幅要望が出ているが、市の予算の関係で却下されている路線である。そのような危険が伴っているので十分な注意を願う。

【高橋班長】

- ・除雪業者に指導し、パトロールを行いたい。

【西田節夫委員】

- ・針から関田までの上越飯山線の針の信号から別所までは、子どもの通学路になっている。雪が多く降ると今消雪パイプでは間に合わなくなる。道幅が狭くなったら排雪をしてほしいという要望が町内会からも出ているかと思う。消雪パイプが出ていると、水を頭から被る子どももいて可哀想である。

【高橋班長】

- ・上越飯山線は、県の方で除雪を行っている。今いただいた意見を県に要望する。

【西田節夫委員】

- ・針だけでなく、曾根田の集落の中も同様である。合わせて要望願う。

【高橋班長】

- ・上越飯山線について、県に話す。

【新井清三副会長】

- ・山間地の市道のバス路線で、バスの運転手が雪が降る中を歩いて路面確認に行き、坂の上から降りられるかを判断しているような状態の時がある。
- ・一方で、県道は立派な機械で凍結防止剤をまいている。その辺を県に働きかけ願う。バス路線くらいは凍結防止剤をまき、いち運転士に判断を委ねることはなくすべきである。

【高橋班長】

- ・板倉区でも凍結防止剤は散布しているが、行き届いていないところがあれば、私どもも確認してまく指示をしたい。
- ・3年以上前から凍結防止剤は業者に委託して散布するようにしているが、今の要望の位置が散布しているか分からないため、確認させていただきたい。

【新井清三副会長】

- ・上関田地内のYの字に分かれた左側の急な道路である。

【高橋班長】

- ・散布していないようであれば、現地を確認し検討させていただく。

【平井達夫会長】

・質問・意見がないので、「平成28年度冬期道路交通確保除雪計画について」は以上とする。

・次に「板倉区内バス路線の見直しについて」事務局の説明を求める。

【山岸G】

・資料8により説明

【長藤豊委員】

・2番の自由乗車区間に関する記述が一切ないため、表現していただきたい。停留所でしか乗降ができなくなるのか、それとも現在のように自由乗降はそのままできるのか、明確にしていきたい。

【山岸G長】

・ここには自由乗降について記述していないが、自由乗降については今現在も傾斜のない所ではしており、それを継続して行う予定である。

【平井達夫会長】

・質問・意見がないので、「板倉区内バス路線の見直しについて」は以上とする。

・次に「町内会長訪問集計結果について」事務局の説明を求める。

【山岸G長】

・資料9により説明

【平井達夫会長】

・質問・意見がないので、「町内会長訪問集計結果について」以上とする。

・他に事務局、説明事項はないか。

【山岸G長】

・先程決めた5日の勉強会について、会場はコミュニティプラザ201、202会議室でよいか。

【平井達夫会長】

・よい。

【山岸G長】

・今全員揃っているので、委員への案内等はなくてよいか。

【平井達夫会長】

・勉強会のため、案内はなくてよい。

【山岸G長】

- ・費用弁償の関係であるが、非公開のため費用弁償はなしでよいか。

【平井達夫会長】

- ・非公開でも出るのか。

【山岸G長】

- ・公開しないと出ない。

【平井達夫会長】

- ・勉強会は非公開なので結構である。
- ・他に皆さんで協議事項はないか。

【西田節夫委員】

- ・会の録音については了解するが、記録はホームページに出るのが1か月以上かかる。今日の午前中にホームページを確認したが、一切出していない。
- ・テープの録音が駄目ならば、欠席された人に事務局が記録を渡すことにしなければ、次に出席して議論する際に分からない。

【平井達夫会長】

- ・記録は、現状ではホームページに1か月以内に載らない。概ね月に1回地域協議会があるが、それまでに記録を欠席者に渡せるか、事務局の回答を求める。

【山岸G長】

- ・西田委員の言われる記録は、どの程度のものか。

【西田節夫委員】

- ・ホームページに載せるものである。その記録を欠席した人に上げてほしい。

【山岸G長】

- ・要望があったらという話でよいか。

【西田節夫委員】

- ・本来は、必ず渡すべきである。欠席した人は、次の会に出てきても分からない。会議録を確認しないと、議論に入れない。

【古海誠一委員】

- ・私も4年くらい前に、その質問をしている。
- ・あまりにも議事録の公開が遅すぎる。2か月くらいしないとホームページを見ても

出てこない。これでは何の意味もないので、1か月以内にホームページに公開するよう求める。

【平井達夫会長】

・ただいまの西田委員と古海委員の意見は、遅くとも次回の地域協議会までにホームページ等で開示してほしいという要望である。事務局お願いできるか。

【山岸G長】

・事務方では、会議が終わって3週間以内に総務管理課に上げる決まりである。その後、総務管理課がホームページアップの手続きをするので、1か月程度かかる。

・ホームページは次の会の直前に出ることになる。第一優先にしたいと思うが、委員による確認もあるため、1、2週間で出来るとは言えない。

【古海誠一委員】

・民間企業では、会議が終わって1週間後に議事録を出せばいらないと突き返される。3日が出てこなければ能力がないとみなされる。行政はあっちの判子、こっちの判子が必要なのか。だから遅くなるのであって、もう少し早く出す努力を求める。

【長藤豊委員】

・仕組み上、時間がかかってしまうことがあると思うが、西田委員の発言のように、議事録が確認中でも、欠席された方にだけ変更の可能性があるという断り付きで優先的に渡すことが可能であれば、大分違う。可能かどうか検討願う。

【山岸G長】

・確認が終わっていないものをお渡しできるかという部分も含め、検討させていただく。

・古海委員の発言のなるべく早くということについては、可能な限り努力する。

【平井達夫会長】

・総合事務所でも努力が必要であり、木田の問題もあるということだが、一言取り敢えずと入れればそれで済むのではないか。木田との話は、字句等だと思う。

・早めに手元に届くように努力していただきたい。役所はぬるいということではないが、民間は全てそうである。早めに手元に届くよう求める。

・その他、協議事項はないか。

【西田節夫委員】

- ・国の補正予算が39億円出たが、今、豊原小学校から田井の間で歩道の工事が始まっている。これは約1億かかる。今回は、予算がいくらだったのか。

- ・今、分からなければ後でよい。

【平井達夫会長】

- ・後ほど調べて、返答を求める。

- ・その他、協議事項はないか。

【北折佳司委員】

- ・町会の課題・要望調査に対する市の対応等でゑしんの里記念館が何をやっているのか分からないという意見があったが、12月1日からゑしんの里記念館で、市の補助事業の一環でスケッチの展覧会がある。皆さん是非来ていただきたい。

- ・先日、高田にイベントに誘われて行ったのだが、イベントをやる方が、高田で1泊千円くらいで安く泊まれるところがあるといいと言っていた。高田で飲んで帰ろうとすると、代行車等でお金がかかる。

- ・地域協議会といっても板倉区だけと捉えると非常に話の範囲が狭くなるので、高田と一緒に活動してもよいのではないか。高田の人でも中山間地に目が向いていないところがあり、高田で活躍している人を中山間地に呼ぶべきである。

- ・例えば、路線バスの話があったが、都会の高田から利用者がこちらに定期的に来るようになれば、路線バスも潤うことになる。

【平井達夫会長】

- ・その他、意見等がないので、5「その他」については、以上とする。

- ・本日の会議録の確認は、古川政繁委員にお願いします。

- ・次回の地域協議会の日程は、12月22日木曜日、午後6時から行う。

【山崎次長】

- ・最後に新井副会長から閉会のあいさつをお願いします。

【新井清三副会長】

- ・あいさつ

【山崎次長】

- ・以上で本日の日程を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141（内線 123）

E-mail : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。